平成 29 年 4 月 24 日

国土交通省

中国運輸局山口運輸支局情報 No.２９－０３

Japan. Endless Discovery.

「第１０回 やまぐちバス博」開催！しました。

４月２３日（日）、抜けるような青空の下、大型商業施設「ザ・モール周南」にて「みんなが利用したくなる生活交通推進会議（事務局：山口県バス協会・山口県、参加団体：中国運輸局山口運輸支局ほか）」主催による県下最大のバスイベント「第１０回やまぐちバス博」を県内６社のバスが勢揃いして開催しました。

今回もＭＣをＦＭ山口の新井道子アナウンサー（第１回目からされています）が担当され、オープニングトークの後、地元下松市の「公集小金管バンド」の演奏でイベントがスタートしました。

【新井アナのトークと愛らしい演奏でイベント開始】

地元アイドルグループをお目当てに、大勢の若者が集まり、例年とは少し違う盛り上がりを見せました。

会場ではレアグッズを取り揃えた各社グッズ販売、バスの乗り方教室、バスにお絵かきタイム、交通ジャーナリストの鈴木文彦先生が展示された懐かしのバス写真展、バスと綱引き対決、クイズラリーを完了した方にはすてきな景品の当たるガラポン、そして今回初めて地元アイドルグループ「山口活性学園」の２回のライブなど多数の催し物があり、3,500 人もの親子連れや若者が訪れました。

さて、ちびっ子に大人気のイベントとして定着した中国運輸局山口運輸支局の「バスの乗り方教室」ですが、今回は宇部市交通局とタッグを組んで担当し、クイズや実演でマナー・安全・バリアフリー、そしてバスに乗り降りして路線バスの使い方を楽しく学んでいただきました。

午前・午後計２回の教室で、合計６０人もの参加があり、大盛況でした。

【鈴木先生もお絵かきの様子を‘パシャ’】

防長交通（株）からは、お絵かきバスが提供され、ちびっ子たちが白いキャンパスとなったバスの車体に思い思いにペイントして、世界にたった一つのバスが完成しました。このバスは乗合バスとして周南・下松地域を走行し、市民の注目を浴びることとなります。

会場には県内営業所のあるバス会社６社から１０台を展示しました。中でも広島からは特別に、昨年カープの優勝パレードでも使用した「めいぷるスカイ」が登場し、

【青空とヤシの木がよく似合う‘めいぷるスカイ’】

珍しい２階建てオープンバスに乗って屋根のない開放感を味わおうと長い列ができていました。

また、自動車事故対策機構（ＮＡＳＶＡ）から「衝突実験車両」の展示があり、来訪者が安全性能の高いのは、どのような車か訪ねておられました。

中国運輸局山口運輸支局では、これからもイベントを通して、公共交通の利用促進・バリアフリーに対する地域住民の意識向上を図り、地域社会にしっかり貢献していきたいと考えています。

休日にも関わらずイベント運営に全力投球された関係事業者、協会・自治体担当者の皆様、またイベントに参加した支局職員の皆様、本当にお疲れ様でした。

【子供に人気がある署員手作りのミニ白バイ】

【自動車アセスメントの説明】

【路線バスと綱引き、下松市のゆるキャラ「ガーリッくん」も一緒に‘よっいしょ’】

バスの車内には地元の幼稚園児が描いたバスの絵を幼稚園ごとに、１８０枚掲示しました。